

平成 31 年度
特別奨学生入学試験問題
(Brilliant S)

国 語

注 意

- 1 試験係員の指示があるまで、問題冊子と解答用紙に手をふれてはいけません。
- 2 解答用紙に受験番号を記入しなさい。
- 3 問題は【問一】から【問五】まであり、問題冊子の2～9ページに印刷されています。10ページ以降に問題はありません。
- 4 問題冊子とは別に、解答用紙があります。解答は、すべて解答用紙の の中に書き入れなさい。
- 5 解答用紙にマスがある場合は、句読点、カギ括弧（「や『」などもそれぞれ一字と数え、必ず一マスに一字ずつ書きなさい。なお、行の最後のマスには、文字や句読点などを一緒に書かず、句読点などは次の行の最初のマスに書きなさい。
- 6 下書きが必要なときは、問題冊子のあいているところを使いなさい。

【問一】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

著作権の関係から本文は掲載できません。

(1) 文章中の〰〰線部のよみがなを、ひらがなで書きなさい。

- ① 新生児 ② 保
④ 適応 ⑤ 創造 ⑥ 緊密

(2) 〰線部 a「ずっと」の品詞名を書きなさい。また、「ずっと」がかかる文節を抜き出して書きなさい。

(3) A、B に当てはまる最も適切なものを、次のア～オからそれぞれ一つずつ選び、記号を書きなさい。

ア なぜなら イ たとえば ウ ところで
エ しかし オ また

(4) 〰線部①「そういうもの」が指す内容の説明として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 形態や機能の分化・変異の過程を積み重ねつつ、環境に適した状態になること。
イ 形態や機能などが環境に適応して、より複雑で質の高いものへと変化していくこと。
ウ 形態や機能などが段階を経て徐々に向上し、より望ましい方向へと変化すること。
エ 形態や機能などが質的に向上する過程の中で、以前より不都合な状態も生じること。

(5) 〰線部②「人間の進化」について、文章中で筆者が二つに分けて提示している「人間の進化」の特徴を、それぞれ五字以内で抜き出して書きなさい。

(6) 〰線部 b「それ」、c「それ」、d「そう」の内容を説明している最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

著作権の関係から本文は掲載できません。

A blank coordinate grid with x and y axes ranging from 0 to 110. The grid is composed of dashed lines. The x-axis is labeled at 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, and 100. The y-axis is labeled at 10, 20, 30, 40, 50, 60, 70, 80, 90, and 100. The origin (0,0) is at the bottom-left corner.

【問二】江藤さんたちは、敬老の日に老人介護施設を訪問し懇談会を行うことになり、その際、心がけておくことを話し合うことにした。次に示した話し合いの様子と〈資料A〉、〈資料B〉を読んで、下の各問いに答えなさい。

話し合いの様子

江藤さん (司会) それでは、懇談会で心がけたほうがいいと思うことを発言してください。

岸田さん 僕たちの普段の会話はお年寄りにとって早口に聞こえるんじゃないかな。だからいつもよりゆっくり話をするといいと思います。

高島さん なるほど。それに加えて使う言葉にも注意を払いたいな。僕はこの前、おじいちゃんから『アニソン』って何だ」とか、「知らない言葉が多くて話がわからないなあ」って言われたことがあるんだ。僕は普通に話しているつもりだったけど、話が終わったあとのおじいちゃんのぼう然とした様子は、まさに「」っていう感じだった。

杉本さん 私にも同じような経験があるよ。それに、逆にお年寄りの話の内容や言葉遣いを、私たちが理解できていないってこともあるかもしれない。

「〇〇ということですか」とか、「聞き取れなかったので、もう一度言ってもらえるか」というように、聞き直すことも必要だと思う。

野崎さん 私は、相手にリラックスして話していただけるような雰囲気を作ることが必要だと思います。例えば、対話を楽しんでいることが伝わるように、いつも笑顔で接することは大事だと思う。それと、お話がきちんと伝わっているってわかってもらって、安心して話してもらえるようにするのも大切だね。例えば、相手と目をあわせて相づちを打つとかね。

江藤さん お年寄りの方たちの気持ちを思いやって、話し方や聞き方に心を配るということですね。これまでの意見は後でまとめておきます。お年寄りの方たちを楽しんでもらえる、すてきな懇談会になるよう工夫をしていきましょう。

(1) 江藤さんは話し合いで出た意見を〈資料A〉のようにまとめた。岸田さん、高島さん、杉本さん、野崎さんの意見をまとめたものとして最も適切なものを、〈資料A〉のA～Eからそれぞれ一つずつ選び、記号を書きなさい。

(2) 話し合いの様子のでに当てはまる最も適切な言葉を、次のA～Eから一つ選び、記号を書きなさい。

A あつと言わせる
イ 茶々を入れる
ウ ぬるま湯につかる
エ あつけにとられる

(3) 杉本さんは高島さんの意見に対してどのような立場で発言しているか。最も適切なものを次のA～Eから一つ選び、記号を書きなさい。

A 高島さんの意見と対立する意見をぶつけ、選択をせまっている。
イ 高島さんの意見を否定しながらも、改善点を挙げ議論を深めている。
ウ 高島さんの意見を肯定しつつ、逆の視点から新たな提言をしている。
エ 高島さんの意見を肯定しながらも、それが含む問題点を指摘している。

〈資料 A〉意見のまとめ

心がけたいこと	
ア	笑顔を忘れないようにしよう
イ	わかりやすい言葉を使おう
ウ	普段よりもゆっくり話そう
エ	わからなくても聞き流さないようにしよう

〈資料 B〉介護施設の方からの返信

江藤 様

こんにちは。ご連絡ありがとうございます。

皆さんが施設を利用する方たちのことを考えて、いろいろな工夫をしようとしてくれているのをとてもうれしく思います。

私からは、あまり堅苦しくならないようお願いしたいです。懇談会に参加する施設利用者は、皆さんのおじいさんやおばあさんの世代です。江藤さんたちのことを苗字ではなく名前で呼んでもらえるようにすると親しみがわきやすいと思います。また、あらかじめ話す内容を決めておくと、会話が弾むと思います。

皆、懇談会を楽しみにしています。

よろしくお願いします。

浜口

(4) —線部「言ってもらえるか」について、動詞「言う」を敬語にして同じ内容になるように直し、十字以上十五字以内で書きなさい。

(5) 〈資料 B〉は、江藤さんが訪問先施設の職員の浜口さんに、話し合いの内容を連絡した際の返信である。これを読んで江藤さんたちは再度話し合い、工夫すべきことを思いついた。その内容として最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

- ア 相手への敬意をこめて丁寧な口調を心がけよう
 イ 自分たちの名前を大きく書いた名札をつけよう
 ウ 懇談会が終わったあと皆で施設の掃除をしよう
 エ 事前に昔の遊びやゲームの練習をしておこう

【問三】 次の①～③の——線部の漢字として最も適切なものを、それぞれあとのア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

① 技術カク新

〔ア 格

イ 画

ウ 核

エ 革

〕

② 午後の予定をアける。

〔ア 明

イ 拳

ウ 空

エ 飽

〕

③ 地域に校庭をカイホウする。

〔ア 会報

イ 解法

ウ 快方

エ 開放

〕

【問四】次に示すのは、文章Ⅰが『宇治拾遺物語』の一節、文章Ⅱが『莊子』の一節を書き下し文に改めたものである。これらを読んで、下の各問いに答えなさい。

文章Ⅰ

今は昔、唐に莊子といふ人ありけり。家いみじう貧しくて、今日の食物絶えぬ。

隣に監河侯といふ人ありけり。それがもとへ、今日食ふべき料の粟を乞ふ。

河侯が曰く、「今五日ありておはせよ。千両の金を得んとす。それを奉らん。いもう五日たつてからおいでください

かでかやんごとなき人に、今日参るばかりの粟をば奉らん。返す返すおのが恥どうして 尊い 召しあがるだけの 差し上げられようか 私の 恥で

なるべし」といへば、莊子の曰く、「昨日道をまかりしに、跡に呼ばふ声あり。顧あるに違いない 通りましたところ

みれば人なし。ただ車の輪跡のくぼみたる所にたまりたる少水に、鮒一つふためわだちの ばたばたし

く。①何ぞの鮒にかあらんと思ひて、寄りて見れば、少しばかりの水に、いみじ

う大なる鮒あり。『何ぞの鮒ぞ』と問へば、鮒の曰く、『我は河伯神の使に、江

湖へ行くなり。それが飛びそこなひて、この溝に落ち入りたるなり。喉乾き死な

んとす。我を助けよと思ひて、呼びつるなり』といふ。答へて曰く、『吾今二三

ありて、江湖といふ所に遊しに行かんとす。そこにもて行きて放さん』といふに、

連れて行って放してやるう

(1) 文章Ⅰの~~~~線部の言葉を現代仮名遣いに直して、ひらがなで書きなさい。

- ① いみじう ② そこなひて

(2) —線部①「何ぞの鮒にかあらん」とあるが、どのような鮒であったのか。その説明として最も適切なものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 江湖から河伯神のもとに使いに行こうとして、水の少なくなつた江湖から出られなくなつてしまつた鮒

イ 江湖から河伯神のもとに使いに行つたのに、貢物の神聖な水を車のわだちにこぼしてしまつた鮒

ウ 河伯神の使いとして江湖へ向かう途中、提一杯の水を手に入れられず江湖に逃げ帰つてしまつた鮒

エ 河伯神の使いとして江湖へ向かう途中、車のわだちにたまつた少ない水の中に落ちてしまつた鮒

(3) —線部②「いひける」の主語にあたるものを、次のア〜エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 莊子 イ 監河侯 ウ 鮒 エ 江湖

(4) 文章Ⅱは、文章Ⅰのもとになつたものであるが、—線部 a

「今日食ふべき料の粟」について説明した次の文の A

B に当てはまる適切な言葉を、文章Ⅰ、文章Ⅱの本文中

からそれぞれ指定された字数で抜き出して、書きなさい。

魚の曰く、『更にそれ迄え待つまじ。ただ今日一提ばかりの水をもて、喉をうる
とてもそれまでは待てないだろう』

へよ』といひしかば、さてなん助けし。鮒のいひし事、我が身に知りぬ。更に今
てくれ 言ったので そのようにして助けた

日の命、物食はずは生くべからず。後の千の金更に益なし」とぞ②いひける。
物を食べなければ生きることはできない

それより、b 後の千金といふ事名誉せり。

有名になった

(本文は「日本古典文学全集」による)

文章ロ

(鮒が) 對へて曰く、我は東海の波臣なり。君豈に斗升の水有りて我を活か
小臣である どうか少しの水でよいから持ってきて私を生か

さんか、と。周曰く、諾。我且に南のかた呉越の王に遊ばんとす。西江の
してくれないか 莊子 わかった これから南方の 呉越の王のところに行くところだ

水を激して子を迎へん、可ならんか、と。鮒魚忿然として色を作して曰く、
水をせき止めて押し流してあなたを迎えにしよう。それでよいか 鮒は むっとして 怒った顔つきをして

③ 吾は我が常與を失ひ、我處る所無し。吾斗升の水を得ば然も活きん
われ じやうよ を な われ 少しの水を手に入れば 生きられる
私は今無くてはならない水を失っていて

のみ。君乃ち此を言ふ。④ 曾ち早く我を枯魚の肆に索めんには如かず、と。
すなは 此を い 曾ち はや 枯魚の 肆に 索めんには 如かず、と。
のだ それなのにそのように言う いっそ さつさと 乾物屋の 店先で 探したらいいだろう

(本文は「新釈 漢文大系」による)

莊子が河侯にしたたとえ話の中で「今日食ふべき料の
粟」にあたるのは、文章ロでは **A (七字)**、
文章ロでは **B (四字)** である。

(5) — 線部③は「吾失我常與、我無所處。」を書き下し文に
改めたものである。解答欄の白文に返り点を付けなさい。

(6) — 線部④「曾ち早く我を枯魚の肆に索めんには如かず」
と鮒が言った理由として最も適切なものを、次のア～エか
ら一つ選び、記号を書きなさい。

ア 貢物の水が手に入らなければ、呉越の王の怒りを
かって殺されてしまうだろうから。

イ 莊子の提案通りに迎えを待てば、その間に干から
びて死んでしまうだろうから。

ウ 干し魚になって人間の食べ物となれば、生まれ変
わってから出世できるだろうから。

エ 莊子が干し魚を手に入れたいのなら、自分が乾物
屋を案内すべきだと思ったから。

(7) — 線部 b 「後の千金」の意味の説明として最も適切な
ものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア どんな援助であつても、素晴らしい価値がある。

イ 人に親切にすれば、後々必ずよい報いがある。

ウ 時に合わない援助は、大金であつても役に立たない。

エ 人に援助するなら、失敗することを恐れてはならない。

【問五】 次の文章を読んで、下の各問いに答えなさい。

著作権の関係から本文は掲載できません。

(1) 文章中の〰〰線部を漢字に直して、楷書で書きなさい。

- ① ケイヨウ ② バ

(2) — 線部①「科」と同じ部首を持つものを、次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。ただし、ア～エはすべて行書で書かれている。

ア 礼 イ 抑
ウ 村 エ 秒

(3) — 線部②「受け入れられていた」は二文節で構成されているが、この二つの文節相互の関係を何というか、書きなさい。

(4) — 線部③「ここに集まる」とあるが、「私」が考える「集まる」理由はどのようなものか。その説明として適切なものを、次のア～オから二つ選び、記号を書きなさい。

- ア 図書館とプラネタリウム棟が合わさった施設だから。
イ 他の利用者がいないので、勉強に集中できるから。
ウ 冷房が効いていて、その上お金もかからないから。
エ 館長たちは具体的にでない言葉で急かしたりしないから。
オ 訪れる人は誰もいないし、親の小言からも逃げられるから。

著作権の関係から本文は掲載できません。

(5) — 線部④「()を迎える」が「六十歳になる」という意味になるように、()に漢字二字を入れなさい。ただし、漢数字は使ってはならない。

(6) — 線部⑤「不毛な論争」と同じ意味になっている部分を文中から十字で抜き出して書きなさい。

(7) — 線部⑥「祐人君、偉いわね」とあるが、「乃々さん」は「祐人」のどんなところを指して「偉い」と言っているのか。最も適切なものを次のア～エから一つ選び、記号を書きなさい。

ア 周囲の友人たちと同様にやってないふりをしながら、実は宿題を終わらせているところ。

イ 友人のノートを写すより自分で宿題をやったほうが楽しいと考えているところ。

ウ 夏休みが残り一週間になっても、余裕を失わず宿題に見向きもしないところ。

エ 夏休みの宿題には毎年まったく手をつけないのに、最終的には成績を落とさないところ。

(8) — 線部⑦「せめて君たちが必要がある」と「館長」が言った理由を、次の〈条件1〉、〈条件2〉に従って書きなさい。

〈条件1〉「大人になると、」という書き出しに続けて、「と思ったから。」という文末につながるように書くこと。

〈条件2〉五十字以上六十字以内で書くこと。(解答用紙に書かれている書き出しと文末の字数は含めない。)

これより先に問題はありません。
下書きなどが必要なときに、自由に使いなさい。

